

群馬県みなかみ町立新治小学校 5 年生への感想

〔児童の皆様へ〕

- 自分たちの住む町に身近な自然について詳しく、聞いている人にわかりやすく説明してくれてとても良かったです。自分たちで課題を設定してどのように解決をするかをしっかり考えられていることがとてもすごいと思いました。一人一人がはきはきと話すことができいてとても聞きやすかったです。
- 新治の良いところを発表の初めに知ることができ、行ってみたいなと思いました。現地に行って生き物や植物について、その名前だけではなく詳しく調べた結果を説明してくださったので、より分かりやすく興味がわきました。赤谷プロジェクトというプロジェクトがイヌワシやその現地の生態系に影響していることが分かりました。この活動については今まで知らなかったので、自分でも調べてみたいと思いました。また、イヌワシ木材の活用方法がしっかりと考えられていました。
- 新治がどのような魅力があるのかをしっかりとめ伝えられていた。調べ学習を通して、それぞれの生物、植物、観光地などがどのようなものなのか、その魅力は何なのか等をわかりやすく述べられていたのがとてもいいと思った。発表の仕方もとてもよくスライドも見やすかったため、とても聞きやすかった。
- 赤谷の森について、実際に遠足に行くといった実地で調査をしているのはいいと思いました。また、各森の紹介として、森の岩や植物、動物について詳しく紹介していて、赤谷の森についての理解を深めることができました。さらに標高での分布の違いや動物の分類についても調べられており、その中からイヌワシという動物の特徴を捉えて、生態などを調べられていることもいいと思いました。そのイヌワシの狩場作りの過程でできた木材に関する課題、解決方法を考えられていていいと思いました。
- 「環境とともにある学校づくり」がとても前面に出ている探究、成果発表だったと感じています。発表のつかみが、研究内容とも少しかわりながらスムーズに研究内容に移行できていて、とても良いと感じました。赤谷の森に関して、全く知識がなかったが、今回の発表を通して自分自身とても学びが多かったです。生物多様性というとても複雑で難しい問題を探究的に学習していたのがとても印象的でした。課題解決を自分たち自身で考え、木材の特徴などから活用方法を探っていく姿勢がとても良いと感じました。
- 赤谷の森のことを調査し、そこから生物多様性について考えているのはよいと思いました。また、それだけでなく、赤谷プロジェクトで生まれる木材の活用を考えているのはよいと思いました。これから実際に木材をつかって商品を作ってみると、また新たな活用方法が見えてくると思いました。
- 新治には温泉や自然など、様々な魅力があるんですね。新治の自然について、実際に赤谷の森に行くと、植物やきのこ、動物など森のことをたくさん知り、調べてきていてすごいなと思いました。人工林から自然林に戻すための試験地も話されていましたが、なかなか1度人工林にしてしまうと自然に戻すのは難しいことだろうなと思っていたので、そういった活動があるのだと嬉しくなりました。うまく行くといいですね。イヌワシ木材に関して、いくつかの課題がありましたが、自分たちで特徴を理解して活用しようとしている所、積極的に考え行動できていてすごいと思います。発表ありがとうございました。

- 赤谷プロジェクトを通して、イヌワシの保護活動などを行い、自主的に生物多様性について考え行動できているのがとても良いと思いました。また、イヌワシの保護で発生した木材の活用方法まで考えられていて、とても環境にやさしい取り組みだなと思いました。
- 森林伐採が問題になりやすい今の時代において、イヌワシの狩り場づくりのために木を切るという発想にとっても驚きました。しかし、それが結果的にイヌワシの保護や生物多様性に繋がるだけでなく、そこで切った木が学校や地域でどのように活用できるかを詳細に考えている皆さんを見て、皆さんのSDGsに対する熱い思いが伝わってきました。たくさんの人にイヌワシ木材を知ってもらえること私も願っています。
- 「自分たちの住む地域のよいところ」に着目してそれを守るためのプロジェクトを作っていくという姿勢がとても素敵だと思いました。イヌワシの生活環境を整えるために必要なこと、そこに発生する課題、課題の解決策すべての提示の仕方が鮮やかですと頭に入ってきました。イヌワシ木材の半紙、私も使ってみたいと思いました。
- 新治という土地の特徴などとても分かりやすく、スライドにも写真や画像、配色など工夫されていて発表自体とても聞きやすく感じました。SDGsを意識した課題になっていてとても素晴らしいと感じました。新たな課題設定までされていてとても素敵だと思います。
- 赤谷の森にはたくさんの植物や生物がいて、それらの生物多様性を守っていくために赤谷プロジェクトを行っていることが分かりました。切られたイヌワシ木材を使っていろんなものを作るのは、切られた木の活用だけでなく、地元のPR等にもつながると思うので良いと思います。
- 生物多様性の保全のために、どのような取組がなされているのか、自分たちにはどのようなことができるのかの追究が詳しく行われていて良かったです。イヌワシの狩場を確保するために行われる間伐によって得られる木材の利活用について子どもなりに考えるというのが新しい視点に繋がっていて良かったです。
- 地元の魅力について、調べ学習をしているところがとてもいいなと思いました。また、調べ学習にとどまらず、実際に行ってみるといった体験をしていることをしていて、発表に説得力があると感じました、また発表も原稿を見ずに堂々としていて、小学5年生とは思えない素晴らしい発表でした！
- 生態系を維持するストーリーを知り、なおかつ適正価格を理解して商品を買ってもらう、ということの重要性がよく伝わりました。自分たちで課題発見ができていることも良かったです。次はこの課題をどうやって解決していけるか、誰に働きかけたらこの課題に対して変化が生じるか、さらにどんどん行動していけるよう、応援しています。

〔教職員の皆様へ〕

- 自分の住んでいる地域にある自然についてあまり知らないということはどここの地域でもあると思います。自分の地域の自然について聞かれても答えられないという気づぎができたことがまず素晴らしいことだと思いました。赤谷の森にすむ動物を標高ごとに調べたり、森の植生について細かく調べていてまとめ方もわかりやすくすごいと思いました。また、交流会で質問に答える際もとても丁寧に答えていて丁寧に調べていることがよくわかりました。

- 子どもたちの身近にある自然について深掘りし「赤谷プロジェクト」の取り組み注目した活動であることがよく伝わってきました。プロジェクトに携わっている方々が抱えていらっしゃる課題について、自分たちではどんなことができるのかという視点で考えていく子どもたちの姿は、大人にはない自由な発想も生まれてきたのではないかと思います。発表を見ているなかで、「イヌワシ木材のストーリーを理解した上での活用」という言葉がありました。きっとこの言葉には、「ただの木材」ではなく、その活動にいろいろな人の思いが込められているのだろうと感じました。子どもたちがそのストーリーをどのように理解し、どう寄り添いながら今後の活動に取り組んでいくのか楽しみにになりました。
- これまで私は長野県の小学校の様子を学ぶばかりでしたので、今回新治小学校さんの発表を拝見する中で、長野県外の取り組みや環境について学ぶ貴重な機会をいただきました。今回の発表では赤谷の森について存在は知っているものの詳しくは答えられないという実態から取り組みが始まったとお話されていましたが、実際私自身も発表を伺いながら、地元が存在する環境について地名は知っているが具体的に何があるのか、どのような動植物が存在するのかということは詳しく答えられないことに気が付きました。新治小学校さんではその課題について、ただ調査して終わるのではなく、地域が欠ける課題にまで視野を広げ、SDGsの観点からの貢献につなげていらっしゃる点が特に印象的でした。森林に関する問題は他にも多くの地域で生じているのではないかと考えられます。その地域に住む子どもたちが地域の課題について取り組み、地域外にも向けて発信していくことは、同じような課題を抱える地域にも貢献することとなる素敵な取り組みであると感じました。ありがとうございました。